

令和4年 12月

■一般文学

「今日は誰にも愛されたかった」

・著:谷川 俊太郎、岡野 大嗣、木下 龍也

・出版社:ナナロク社

タイトルの言い回しにつまずいてこの本を手に取りました。この本は詩人1人、歌人2人の詩と短歌の「連詩」と、その連詩を本人たちで語り合う「感想戦」という作品の、表と裏を見るような構成になっています。

連詩とは複数の詩人が数行の詩を交互に書き連ねてゆく詩の形式です。スタートは歌人の岡野氏から始まり、詩人の谷川氏、歌人の木下氏、次に谷川氏というように谷川氏を挟んで進み36個目の谷川氏で終わります。この連詩は別の日にそれぞれの場所で作られており、感想戦で制作の裏側を語り合う様子を覗き見るのはとても面白い体験になります。

普段、詩や短歌に触れる機会のない方でも楽しめる一冊です。

(対象 一般)

■一般書

「おとなになるのび太たちへ ～人生を変える『ドラえもん』セレクション～」

・まんが:藤子・F・不二雄

・出版社:小学館

心に残る『ドラえもん』の話がみなさんにはありますか？まんが『ドラえもん』ののび太は、運動も勉強も苦手で失敗ばかり、困ったときにはドラえもんに甘えてしまいます。きっと、どんなに頑張っている、失敗したり甘えたり、みなさんの心の中にもそんなのび太がちょっぴりいるのではないのでしょうか。

この本は、小説家の辻村深月さんや宇宙飛行士でもある医師の向井千秋さんなど、憧れの職業に就いている10人のおとなが、これからおとなになるみなさんに、『ドラえもん』の作品を通して伝えたいことが書かれています。そしておとなのみなさんへ、これからの未来への応援のような最後の1話が書かれています。多くののび太たち、そしてのび太だった人たちへ、エールを感じる『ドラえもん』です。

(対象 一般)

■児童書

「ノレノレかるた ～二人でつくる卒業制作～」

・著:こまつ あやこ

・出版社:毎日新聞出版

小春と英(はな)は、塾「ノーレイン・ノーレインボー進学教室(略してノレノレ)」に通う小学6年生。通う小学校や受験する中学校は違うが、二人は塾友だ。

ある日、学校のホームルームで、小春は先生から「卒業制作」についての話を聞いた。先生が言った「みんながこの小学校にいたという証」という言葉。じゃあ、ノレノレにいた証は？塾には何もない。ないのなら私たちがここにいた証を作ろう！こうして二人の卒業制作がはじまった。

自分の夢と進路に葛藤する子、決められた進路に悩む子、やり直すチャンスが欲しい子、様々な思いを胸に中学受験に挑む子どもたち。小春と英の希望に満ちたラストは必見です。

(対象 小学高学年から)

■絵本

「せかいいちしあわせなクマのぬいぐるみ」

・作:サム・マクブラットニィ

・絵:サム・アッシャー

・訳:吉上 恭太

・出版社:徳間書店

メアリー・ローズという女の子が、こつこつとためたおこづかいでクマのぬいぐるみを買いました。さわるとふわふわして、かわいいちゃいろの目をしたすてきなぬいぐるみです。メアリーはぬいぐるみを「ウーウー」となづけ、どこへいくのも一緒に大のなかよしになりました。

ところがたいへん、ある日メアリーはウーウーをどこかへおきわすれてしまいます。はなればなれになってしまったメアリーとウーウー。ウーウーはいろいろなこどもたちの手に渡り、どんどん汚れてぼろぼろになってしまいます。けれど50年くらいの長いじかんがたったとき、メアリーとウーウーに奇跡がおこります。

クリスマスの季節にぴったりの、とてもあたたかなおはなしです。

(対象 幼児から)